

常磐殿収支会計報告書

収入の部	金額	備考
寄付金	133,945,000	
仏具寄付	17,228,000	
上棟式	54,000	お祝い
落慶式	772,230	お祝い 講師書籍売上げ等
利息他	80,848	
合計	152,080,078	

支出の部	金額	備考
設計支払	7,548,420	池田設計
工事支払	106,144,200	小林工務店他9社
仏具支払	18,616,852	宗像商会他5社
付帯工事	2,658,072	
事務支払	195,850	
送料支払	345,800	
上棟式	243,548	
落慶式	3,632,844	記念品 講師 寺院御礼 屋台村
合計	139,385,586	

差引残高	12,694,492
内訳	
預金	2,088,918
定期預金	10,000,000
現金	605,574

上記の通り報告致します。平成21年6月30日

鳳仙寺住職 坪井良廣
 鳳仙寺筆頭総代 石原竹雄
 鳳仙寺護持会会計 池田伊佐男
 監査の結果上記の通り相違ない事を認めます。
 村田勝俊 経営事務所 村田勝俊

常磐殿 完成の御礼

住職 坪井良廣

思いおこしますと、平成17年2月11日に開けました、総代・世話人新年会での開山堂、秋葉堂修復工事の話し合いから始まり、企画委員さんを選任して頂き、第1回企画委員会が4月14日に開かれました。

その後、名前が建設委員会と変わり、工事の進みと共に逐一承認を得て全部で18回の会議をおこないました。

御陰様で、平成21年4月29日に、4年間の長きに渡りましたが、常磐殿が完成し落慶式が出来ました事は、感謝に堪えません。有り難うございます。

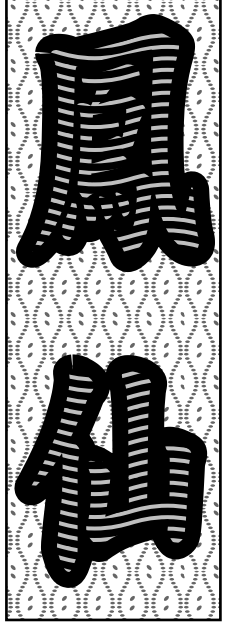
菩提寺は、お寺とお檀

家の皆様が一体となり、護持されてこそ、世代を超えて受け継がれていきます。常磐殿「開山堂・祠堂（位牌堂）秋葉堂・薬師堂」にお参りいただきまますと、このことがよくわかります。

歴代住職、そして皆様のご先祖から受け継いだ鳳仙寺を、次の世代へ受け継いで行きたいと思っております。

この常磐殿の完成を機に、皆様のご多幸と、菩提寺桐生山鳳仙寺のさらなる発展を願いたいと思っております。

有り難うございます。



発行 桐生山鳳仙寺
 桐生市梅田町一丁目五八
 電話(077)311-1177
 E-mail: info@hosenji.or.jp

鳳仙寺フエスタ。常磐殿落慶式厳修

4月29日。この日は空まで常磐殿の落慶式を祝福しているかのような素晴らしい天候に恵まれました。

皆様からのご支援を頂戴して建築された常磐殿は、建物は約一年半の歳月をかけて昨年のお盆に完成。その後、式典までに建物の周りに石畳を使い綺麗に整備され、中庭は枯山水に仕上がりました。常磐殿から眺める庭や川は風情があり、川のせせらぎを楽しむことができます。

常磐殿落慶式。施食会が開催されました

また、境内では婦人会の皆さんのご協力により焼きそばやたけのこご飯、珈琲、お菓子などの軽食が振る舞われ来場者に大変好評でした。また、お寺の役員さんには記念品の受付や本堂などで誘導や案内をお手伝いいただきました。

講演後は、厳かな雰囲気の中、常磐殿に於いて落慶法要が執り行われました。落慶法要では、まず檀信徒の皆様のお位牌開眼供養、ご開山様と歴代住職への建物の完成報告を行いました。引き続き、本堂へ移動して毎年の恒例行事であります檀



境内の様子

出来です。

当日は、本堂と境内で記念講演。話題の仏像ガールさんの講演を皮切りに、中野尚之老師によるあおぞら説法と続きみなさん熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

信徒の皆様のご先祖供養「施食会供養」が行われました。

当日は、お忙しい中ご列席賜りましたありがとうございます。また、お手伝いをいただきました役員の皆様、婦人会の皆様、多くの方々のご協力により無事式典を厳修することができました。ことを感謝申し上げます。ありがとうございます。

父の死がきっかけで、仏教に興味を持ち早14年。仏像を求めて日本全国行脚中。著書に「仏像の本」と「溪谷社がある」。

グレーのワンピース姿で登場した仏像ガールさんは、高校生という若さで仏像に魅入られ、全国の寺院の仏像と対面してきた、仏像ナビゲーターです。小学校時代のいじめの体験から死について

微塵も感じさせない明るい表情の仏像ガールさん。仏像ガールとして活躍する今がとても楽しいとおっしゃっていました。そのきっかけは辛い体験だったはずですが、たとえ辛い体験でもそれを良い方向に転換していくことが大切なのだ、ということ強く感じました。

また、境内では婦人会の皆さんのご協力により焼きそばやたけのこご飯、珈琲、お菓子などの軽食が振る舞われ来場者に大変好評でした。また、お寺の役員さんには記念品の受付や本堂などで誘導や案内をお手伝いいただきました。

講演後は、厳かな雰囲気の中、常磐殿に於いて落慶法要が執り行われました。落慶法要では、まず檀信徒の皆様のお位牌開眼供養、ご開山様と歴代住職への建物の完成報告を行いました。引き続き、本堂へ移動して毎年の恒例行事であります檀



仏像ガールさん

考える。その後、大好きなお父さんとの別れで実際に「死」を経験しました。「死ぬってどういう事だろう」「死んだらどこに行くの?」「死」について真剣に考えるようになってきました。

そんな中、仏像と出会い、心からの感動をした仏像ガールさんは、いろいろな仏像と出会いたいと全国を回ったそうです。仏像を見るときには難しく考えなくて良い、感じるものが大切で、仏像を通して今ある自分の心が見えてくる。など、様々な仏像の見方を教えて下さいました。過去の辛い体験を、

最近まで東京国立博物館にて開催されていた「阿修羅展」のテレビ番組でもナビゲーターとして活躍されていました。今後一層のご活躍をお祈りいたします。

あおぞら説法は、境内という野外で屋台の珈琲を飲みながらお菓子を食べながら、開放的な雰囲気の中で気軽に、堅苦しい法話を聞くのはどうかという趣旨のもとに行われたはじめての試みです。難しい話を正座して仰々しく聞くよりもあおぞらの中リラックスして法話を聞くのも良いのではないかと今回このような形になりました。

機関誌「禅の友」跳龍などで執筆する傍ら、布教師として多くの講演を行っていらつしやいます。ご多忙の中、鳳仙寺にお越し下さいました。

中野尚之老師

新潟県天徳寺住職
 曹洞宗総合研修センター 委託研究員

中野尚之老師は、本山總持寺元出版部主事兼布教師として、曹洞宗の

あおぞら説法は、境内という野外で屋台の珈琲を飲みながらお菓子を食べながら、開放的な雰囲気の中で気軽に、堅苦しい法話を聞くのはどうかという趣旨のもとに行われたはじめての試みです。難しい話を正座して仰々しく聞くよりもあおぞらの中リラックスして法話を聞くのも良いのではないかと今回このような形になりました。



講演の様子



あおぞら説法の様子

あおぞら説法は、境内という野外で屋台の珈琲を飲みながらお菓子を食べながら、開放的な雰囲気の中で気軽に、堅苦しい法話を聞くのはどうかという趣旨のもとに行われたはじめての試みです。難しい話を正座して仰々しく聞くよりもあおぞらの中リラックスして法話を聞くのも良いのではないかと今回このような形になりました。

あおぞら説法は、境内という野外で屋台の珈琲を飲みながらお菓子を食べながら、開放的な雰囲気の中で気軽に、堅苦しい法話を聞くのはどうかという趣旨のもとに行われたはじめての試みです。難しい話を正座して仰々しく聞くよりもあおぞらの中リラックスして法話を聞くのも良いのではないかと今回このような形になりました。

あおぞら説法は、境内という野外で屋台の珈琲を飲みながらお菓子を食べながら、開放的な雰囲気の中で気軽に、堅苦しい法話を聞くのはどうかという趣旨のもとに行われたはじめての試みです。難しい話を正座して仰々しく聞くよりもあおぞらの中リラックスして法話を聞くのも良いのではないかと今回このような形になりました。

法話の中で中野老師は、「仏様と一つになること」を説かれました。

仏教の中ではまず手を合わせることから始まりますが、これを「合掌」と言います。

ご飯をいただく時にもまず手を合わせます。これは、食材の命と自分の命が一つになる。相手と自分と一つになるというところから始まっています。

この世に生きるもの全て姿形が違い、それぞれの

役割があり、違った生き方をしていますが、決して別々のものではなく皆同じで、皆寸分変わらぬ同じ命を持つて生まれて来ているのです。その同じ命が一つになるのです。草木も、太陽も星も、仏様も皆自分と一つになるのです。そこには差別も隔たりもなく、喧嘩も、戦争もありません。それ

が「合掌」の心なのです、とお話下さいました。

仏様に手を合わせる時、このことを思い出し、人間も広い宇宙の小さな一つの生命に過ぎないことを思いだそう。また、命をいただいた私たちの命を繋いでくれていることも忘れないようにしなくてははいけませんね。

お釈迦様の足跡を辿りて

記・副住職 坪井良樹

今年の2月、インドの八大聖地(はちだいせいち)を12日間の日程で巡って参りました。

八大聖地とは、仏教における重要な八つの聖地で、私たちの仏教の礎となったお釈迦様(ブツダ)の生誕(生まれて)から涅槃(亡くなる)までの生涯に纏わる遺跡をさします。

はじめに

仏跡は、ネパール南部からインド北部ビハール州にかけて広く点在しています。移動は、バスを利用して約2500キロの行程を走りました。(国内の距離に例えると、青森から鹿児島までに相当する長いバス旅行です。)

移動中の道路は、途中舗装していない場所も多く、バスはすくく上下に揺れながら進みます。また、砂埃が多く舞っています。途中に、ドライブインやお店もなくトイレが不便です。もっぱら野原や田んぼで用をたしました。

八大聖地の中でも特に重要な出来事が起こった場所を「四大仏跡」と呼び、世界中から多くの巡礼者が訪れています。

一度の旅行で八大聖地をすべて廻れる旅行はほとんどありませんが、西久方町の青蓮寺・本間老師のお誘いでこの度この参拝の旅が実現することができました。

それでは、私が参拝しました仏跡をお釈迦様の辿った順番にご紹介していきます。

たまにトイレがあるガソリンスタンドやお店があっても基本的に不衛生なので、野原や田んぼの草むらで用をたす方が開放的で気持ちが良いわけです。

①ルンビニ……生誕の地(お釈迦様が生まれた地)

ルンビニ(生誕) ブツダガヤ(成道) サールナート(説法) クシナガラ(涅槃)



ルンビニ

今から約2500年ほど前、ネパールの南部のルンビニでお釈迦様が誕生しました。本名は、ゴータマ・シッダルタとい

お釈迦様のお母様マリア夫人が、お里帰りの途中に立ち寄ったルンビニで、なんと夫人の脇の下から生まれるとすぐに、七歩歩いて右手で天を指し、左手で地をさして「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」と言ったそうです。天上天下唯我独尊の意味は、よく「この世で最も尊いのは自分である。なぜなら、この世に自分という存在は一人だけである」と訳され、自己中心的な意味に誤って解釈され暴走族の方が特効服に刺繍などをしていること

もありですが、本当の意味は「人は誰でもこの世に一人だけであって予備の人間はいない。命は尊いものである。私は苦しむ人々を救うことを第一としよう」と訳するのがいいでしょう。

お釈迦様が「天上天下唯我独尊」と叫ぶと、天に住む竜が感激して甘露の雨を降らしたことから、お釈迦様の誕生日である4月8日の「はなまつり」には、甘茶をかけるという習慣ができたようです。

②ブツダガヤ……成道の地(お釈迦さまが悟りをひらいた場所)

お釈迦様はブツダガヤの前正覚山で6年にも渡る苦行を行います。当時の修行では苦行が多くなされていきました。苦行とは、断食をしたり体に針を沢山刺したり、火渡りをしたりと様々な方法で体や精神に苦痛を与える修行を行うことです。そして、苦行の末に死んで行く修行僧も数多くいました。ある時お釈迦様は苦行をして死んでしまつては何にもならないという事に気づき苦行をやめます。



ルンビニ

そして、弱った体はいやす為に尼連禅河(ナイランジャラー川)で水浴をしていると、セーナ村の娘スジャータにより乳粥供養を受けました。その後、菩提樹の木陰で49日間の瞑想に入り12月8日の未明に悟りを開きます。これが成道です。お釈迦様は、35歳でブツダ(目覚めた人)となったのです。

お釈迦様が坐禅を組まれた場所は、「金剛法座」と呼ばれ印が付けられています。そして脇には大きな大塔が建てられており世界遺産に認定されています。

③サールナート……初転法輪の地(初めての説法)

サールナートとは、お釈迦様が最初に5人の修行僧に向かって初めて説法をした場所(初転法輪)であります。

場所は、ガンジス川から近いベナレス近郊にあり、初転法輪をした場所にはダーメーク塔というストウーパが建てられています。

④ラジギール……釈尊布教の地、修行道場の地

ラジギールには、お釈迦様にまつわる場所がいくつもあります。旧王舎城を見下ろす丘の頂上にある「靈鷲山(りょうじゆせん)」。釈尊は長くここに留まられ、この山頂で多くの大乘経典や観無量寿経を説きました。

また、マガダ国ビンビサーラ王がブツダ教団に寄進した修業の地である「竹林精舎」やお釈迦様が亡くなった後に最初の結集が行われた「七葉窟(しちようくつ)」があります。結集(けつじゅう)とは、お釈迦様の教えを確認し合う第一回目の仏典結集で経典編纂の原点となりました。約500名が参加したそうです。



ブツダガヤ



セーナ村



ブツダガヤ

また、ラジギールには「ラジギール温泉」という公共浴場があります。ここでは、沢山の人が温泉を楽しんでいました。しばらく行くと、温泉の建物の外には、お風呂で使われた排水を貯めて作った別の野外の温泉がありました。温泉で使われた汚水や洗いの水が使われています。この人たちは、どうしてこんな汚いお湯のお風呂に入っているのだらうと疑問に思っていると、インド人のガイドさんが、「このお風呂は、身分の低い人が入るんですよ。」と説明してくれました。時代の変化に伴って少なくなってきたカースト制度(身分差別制度)ですが、まだまだ、インド人の人々の心の中には根深く残っ



ガンジス川



サールナート

また、ラジギールには「ラジギール温泉」という公共浴場があります。ここでは、沢山の人が温泉を楽しんでいました。しばらく行くと、温泉の建物の外には、お風呂で使われた排水を貯めて作った別の野外の温泉がありました。温泉で使われた汚水や洗いの水が使われています。この人たちは、どうしてこんな汚いお湯のお風呂に入っているのだらうと疑問に思っていると、インド人のガイドさんが、「このお風呂は、身分の低い人が入るんですよ。」と説明してくれました。時代の変化に伴って少なくなってきたカースト制度(身分差別制度)ですが、まだまだ、インド人の人々の心の中には根深く残っ

また、ラジギールには「ラジギール温泉」という公共浴場があります。ここでは、沢山の人が温泉を楽しんでいました。しばらく行くと、温泉の建物の外には、お風呂で使われた排水を貯めて作った別の野外の温泉がありました。温泉で使われた汚水や洗いの水が使われています。この人たちは、どうしてこんな汚いお湯のお風呂に入っているのだらうと疑問に思っていると、インド人のガイドさんが、「このお風呂は、身分の低い人が入るんですよ。」と説明してくれました。時代の変化に伴って少なくなってきたカースト制度(身分差別制度)ですが、まだまだ、インド人の人々の心の中には根深く残っ

また、ラジギールには「ラジギール温泉」という公共浴場があります。ここでは、沢山の人が温泉を楽しんでいました。しばらく行くと、温泉の建物の外には、お風呂で使われた排水を貯めて作った別の野外の温泉がありました。温泉で使われた汚水や洗いの水が使われています。この人たちは、どうしてこんな汚いお湯のお風呂に入っているのだらうと疑問に思っていると、インド人のガイドさんが、「このお風呂は、身分の低い人が入るんですよ。」と説明してくれました。時代の変化に伴って少なくなってきたカースト制度(身分差別制度)ですが、まだまだ、インド人の人々の心の中には根深く残っ

また、ラジギールには「ラジギール温泉」という公共浴場があります。ここでは、沢山の人が温泉を楽しんでいました。しばらく行くと、温泉の建物の外には、お風呂で使われた排水を貯めて作った別の野外の温泉がありました。温泉で使われた汚水や洗いの水が使われています。この人たちは、どうしてこんな汚いお湯のお風呂に入っているのだらうと疑問に思っていると、インド人のガイドさんが、「このお風呂は、身分の低い人が入るんですよ。」と説明してくれました。時代の変化に伴って少なくなってきたカースト制度(身分差別制度)ですが、まだまだ、インド人の人々の心の中には根深く残っ

ていることを実際に感じさせられました。



霊鷲山

⑤サヘート・マヘート… 祇園精舎と舎衛城

お釈迦さまがしばしば留まられ説法されたサヘート(祇園精舎)がありま



祇園精舎

⑥サンカーシャ…ブツア昇天の伝説の地。

お釈迦様が天国へ昇り、お母さん(マヤー夫人)へ説法をして再び地上へ戻

日目で母親を亡くしていません。悟りを開きブツア



サンカーシャ

⑦ヴァイシャリー… 第二結集の地

リッチャビー族の首都で、お釈迦さまがしばしば留まられ説法された場所



ヴァイシャリー

⑧クシナガラ… 涅槃の地(お釈迦様が亡くなられた地)

涅槃、または入滅の地です。クシナガラは、お釈

の木や「涅槃像」「荼毘塚」がみえます。ラーマールがみえます



クシナガラ



クシナガラ

お釈迦様の八大聖地を一度にすべて巡る旅は、

旅行会社へ行って企画があります。ルンビニやブツダガヤのような世

の行程上組み入れる事は難しく、観光地として訪れる人はほとんどい

しかしながら実際に聖地を訪れば、遙かな時を超えて仏跡がそこにあ

お釈迦様が辿った仏跡を巡る事は仏教徒としてこの上ない幸せです。

インド人は、牛肉を食べません。なぜなら、牛は

バーガーは置いてありませんでした。

なぜ、牛は神様なのか？それは、昔から農家の方々は、牛を使って田畑を耕

しかしながら、産業は発展しインドの農家にも耕耘機が導入され、機械

最近では年老いて、仕事ができない牛は食べるわけにもい

野菜バーガー

野良牛

荷車

秋葉三尺坊大祭の案内

毎年、秋葉大祭で無事に今年を過ごしたお札と来年の安全を願う大祈

1300年前、信州に出現せられた、秋葉三尺坊大権現様は、観音大士

苦の中で特に恐るべき火難を救うべく即ち、身火心火の火防除の大願を

第二に我を信すれば、病苦と災難と一切の苦患を救う

第三に我を信すれば、失火と延焼と一切の火難を逃す

※お札申し込まれる方は、三二一七七に電話ください

第八回 鳳仙寺 おぼけ寄席

出演 日向ひまわり 落語 瀧山 鯉昇 落語 神田 燦山

・講談 日向ひまわり
・落語 瀧山 鯉昇
・落語 神田 燦山
・会場 鳳仙寺 本堂

・開演 午後五時半
・開演 午後六時
・当日 三,000円
・前売り 一,500円

・電話予約 当日精算OKです
・販売・予約 藤江医院・鳳仙寺
・よろづ圓・その他

第7回写経の会開催のご案内です。今回はお彼岸の初日の日曜日に行います。お墓参りも兼ねて本堂での写経はいかがですか。

日常の喧嘩を離れ、静かなお寺で心落ち着くひとときを過ごしましょう。

日 時：平成二十一年九月二十日(日) 十三時より

人数：三十名くらい

参加費：千円

鳳仙寺「写経の会」

□持参品：小筆または、筆ペンでも可・ブンチン ※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

□スケジュール

十三時、受付

十三時十五分、看経・瞑想

十三時二十五分、写経

十四時四十五分、読経

十五時頃、解散

※締め切りは九月十八日(金)まで

※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。

◆お申し込み・お問い合わせは：お寺まで

電話 三二一〇一七

FAX 四〇一六〇〇



大本山 總持寺

研修の旅

- 日 程：平成21年11月26日(木)～11月27日(金)1泊2日
- ご旅行費：お一人様 29,500円 (朝食2回、昼食2回、夕食1回、記念写真代を含みます)
- 募集人員：200名
- 申込方法：10月15日(木)までに旅行費を添えて菩提寺にお申し込み下さい。菩提寺の御寺院様は、教区長様へご参加者を連絡し旅行費をお納め下さい。申込日締切後、旅行業者が教区長様をお伺いさせていただきます。
- 企画：曹洞宗群馬県宗務所 (TEL.027-315-4141) 〒370-0837 群馬県高崎市下横町1-7

11月26日(木)		11月27日(金)	
7:30	7:50	9:15	10:10
県内各地(高崎)=藤岡IC=高坂SA(全車合流)=所沢IC=江戸東京たてももの園(江戸東京博物館分館)		11:20	
12:00(昼食)	13:30	14:10	15:10
==深大寺(深大寺そば)==調布IC=国立府中IC=金剛寺(高幡不動尊)=国立府中IC=高井戸IC=		17:00 (洋室・2名1室)	
第三京浜=横浜中華街(クローズホテル 泊)(夕食は重慶飯店にて中華・四川料理)			
11月27日(金)		18:30	
9:00	10:00(点心)	14:30	18:30
ホテル=大本山 總持寺(供養、諸堂拝観、法話)=汐入IC=練馬IC=藤岡IC=県内各地(高崎)			

平成二十一年春

寺族得度感想文

4月7日・大本山總持寺(横浜市鶴見区)にて行われた寺族得度式に坪井裕子が参加しました。寺族得度とは、生前にお釈迦様のお弟子になり本山の禪師様より戒名の二文字を頂戴する儀式です。

今回、大本山總持寺の機関誌「跳龍」6月号に以下の感想文が掲載されましたのでご紹介いたします。

四月七日。ついにこの日がやって来た。今日から二日間、大本山總持寺で寺族得度を受けるため、一泊二日の修行体験が始まるのである。お寺の中で坊さん達ほどのように過ごしているのか？未知の世界を垣間見られる貴重な体験なので、とても楽しみにしていた。

私は昨年、在家から嫁ぎにきたのだが、お寺の事は良く分からないし、不安の中で日々を過ごしている、しかし今回の得度式で、大勢のお寺の奥様がいらして、同じ立場の方がいる事を心強く感じた。

初日は、諸堂拝観の後、坐禅、説戒と続き、夕食お風呂を済ませた後、九時消灯。二日目は、三時という普段なら考えられない時間に目が覚めた。身支度を整え四時から坐禅。

寒さに耐えながらの坐禅だった。よしなし事が頭に浮かんでも、その思いに心をとらわれてはいけないと、坐禅を組む前に教えて頂いた。ひとつ

思いが浮かべば消し、またひとつ浮かべば止め、とされているうち、心のざわめきが消え、何もない穏やかな空間に身を置いていた。普段いかに自分は、様々な思いに気を取られ心を惑わされている事だろうと思つた。坐禅を組むと、そのひとときでも心の風が止まる。自分さえ良ければ良い、という風潮がはびこる時代で、この静かな時を持つ事が出来れば、自分を抑える事の大切さを感じ取れるのでは

坐禅の後の朝課では、雲水さん達の一糸乱れぬ姿に感動した。とても迫力があり美しかった。それは己を消して、すべての調和のために一人一人が動いているからだと思ふ。雲水さん達にはプライベートというものが全くない。たった一泊だったが自分のペースで自由に行動できないのは苦痛だと感じた。これを毎日続けている雲水さん達はすごいな、と心から思つた。

得度式では、禪師様から絡子とお血脈をいただいた。励ましのお言葉が嬉しく身が引き締まる思いだった。

お寺での束の間の時間だったが、色々な事を考えさせられ、感じる事が出来た。これから寺族として、自分のやるべき

鳳仙寺護持会 会計報告

寺報を利用して報告させていただきます。護持会費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、二〇三、〇〇〇円となっております。院号戒名の付いている家は、二〇以上のお願いとなっております。

二十年度の護持会費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんにお願いし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付しておりますので宜しくお願い致します。墓地掃除代も集金させていただきます。

〔平成20年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕
平成20年4月1日～平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,750,513	本山宗費	1,333,100
H20年度護持会費	3,139,000	下水道保守管理費	80,120
銀行利息入金	14,749	郵便局払込手数料	44,360
		銀行手数料	315
		教区新年会費	30,000
		火災保険共済	48,160
		新建物火災保険料	122,700
		H20年度婦人会補助金	50,000
		役員花輪代金	6,000
		(支出合計)	(1,714,755)
		次年度繰越金	10,189,507
合計	11,904,262	合計	11,904,262

(繰越内訳・普通預金 10,189,507円)

平成21年4月29日 上記の通りご報告申し上げます。
鳳仙寺・護持会 総代 石原 竹雄
会計 池田伊佐男



坐禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時半まで坐禅と朝粥の会を行っています。(会費無料)

鳳の会地歌舞(じうたまい)

練習は、毎月二回地歌舞のおけいこをしております。詳しい日程についてはお問合せください。

華道教室

毎月第一・第三木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺書院

御詠歌だより

鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講師を募集しております。

毎月第二・第四木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺常盤殿



事は沢山あるし責任は思いと感ずる。しかし、周りの方々の力を借りながら、ひとつひとつを一所懸命にやっていたいと思ふ。